



JR 東労組 はちおうじ

ホームページ
http://jreu-h.jp/
東労組八王子
で検索

東日本旅客鉄道労働組合 八王子地方本部

〒192-0904 東京都八王子市子安町1-14-15 2F
NTT 042-649-8965 JR 053-2725-2726
毎月1日発行1部 20円(組合員の購読料は組合費を含む)
発行人 沼澤眞吾/編集人 岸祐太



闘春



東日本旅客鉄道労働組合八王子地方本部
執行委員長代理 沼澤 眞吾

新年のあいさつ

組合員・ご家族のみなさん、新年明けましておめでとうございます。今年はおリンピック・パラリンピックが東京で開催される予定ですが、昨年100の急遽の判断によりマラソン・競歩などの種目は札幌で開催されることになりました。その理由は東京の7月から8月の気温がアスリートに身体的な危険を及ぼす恐れがあるからだと言われています。昨年12月2日からスペイン・マドリッドで国連気候変動枠組条約第25回締約国会議(COP25)が開催され、2018年は特に日本(西日本豪雨など)・フィリピン・ドイツで甚大な災害が発生したと報告がありました。そして、COP25での中心議題は、各国が温室効果ガス削減目標を明確にしなければならぬことでした。しかし、小泉環境大臣は「子供たちに責任を持つのは我々だ」と講演したものの、日本はCO2削減に向けて具体的な政策を何も示していないと厳しい批判を受け、不名誉な「化石賞」を2度にわたって受賞しました。欧州各国(フランス・イタリア・イギリス・ドイツ)は、それぞれ具体的に石炭火力発電の撤廃期限を表明し、同時に再生可能エネルギーへのシフトを行っていきつつあります。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは日本のみならず温暖化問題に消極的な指導者に対して「今の子どもたちが世の中を動かすようになるまで待てないので、今の世の中を動かしている大人たちを教育する必要がある」「行動をしていけるふりをして抜け道を探している」と強烈に批判し、勇気をもって権力者に向かって訴えかけています。日本では昨年、相次ぐ巨大台風により国内が広範囲で風害・水害に見舞われました。もし、このまま世界で何もしなければ30Cの気温上昇につながると予測されている中、すでに世界平均で0.85C、日本では1.2Cも平均気温が上昇しています。今後はどうやって気温上昇を1.5Cに抑え込むのが命題だと言われているのに、小泉環境大臣は「交渉成立に向けて積極的に貢献した。日本の存在感が高まった」と根拠のない成果を強調し、返す言葉で「批判は日本への期待の裏返し」と主張しました。空いた口が塞がりません。これ以外に、日本には首都圏のみならず巨大地震が起る可能性が増していることが専門家から示唆されています。昨年の台風15号でも千葉県で停電のために病院機能が麻痺したために治療を受け

られず、おじいちゃんになった方がいました。首都直下地震の際は避難所に入れない人が750万人発生すると試算されています。災害を研究してきた専門家は3人に1人が未治療で命を落とすのではないかと警鐘を鳴らしている中、防災・減災に向けて何をなすべきか喫緊の課題となっています。

昨年の臨時国会は会期延長することもなく12月9日で閉会を迎えました。またしても安倍政権や官僚はモリ・カケ問題と同じ手法でデータを隠蔽・破棄して嘘の上塗りをする返しましたが、野党は退陣まで追い込めたいです。そればかりか、安倍首相は臨時国会閉幕時にアメリカとの経済協定の成果ばかりを強調し、尚且つ憲法改正について「参議院選挙の結果は憲法の議論を前に進めよということだったと思う」「更に私の決意で成し遂げたい」と言い放ちました。しかし、共同通信による世論調査では桜を見る会の疑惑に関し、安倍首相が「十分に説明しているとは思わない」は、83.5%に上っています。もうこれ以上嘘・ごまかしに付き合っている暇はありません。2019年の出生数は過去最低、90万人に届かない深刻な事態が生み出されています。その現実を生み出しているのは、多くの労働者の賃金が伸び悩み可処分所得が増えないことやワーパースーツに代表されるような個人事業主としての働き方により、労働者の権利を奪われ、労働強化が図られています。従業員代表制の制度化で労働組合を骨抜きにするのが目指されていますが、将来に希望が見えない社会への不安は日増しに増えています。労働組合として一つひとつ嘘とごまかしと対決し声を上げ続けていきたいと思います。

最後に、昨年11月11日に水戸地本委員長・バス棚倉分会長・不当労働行為を受けた当該組合員の三名で、東京都労働委員会に「バス棚倉分会組合員への不当労働行為に対する不当労働行為救済申し立て」を行い受理されました。これは1年間に亘って中央本部に訴えてきたバス棚倉分会に対して時効が迫っているにも関わらず具体的なたたかいが示されないことから、業を煮やしやむに已まれず非常に深い苦悩と熱い決意のもとたたかう決意を露わにしたものです。新聞報道以後、多くの組合員から「会社の健全な経営を取り戻すために企業犯罪とは毅然としてたたかうべきだ」の大きな声が発せられました。この報道を知った方々が11月18日「健全なJR東日本・グループ会社をめざし立ち上がった仲間と連帯する会」を結成し、12月2日には1019名の市民が結集した大集会が開催されました。私たちは労働組合として、あらゆる不正・社会悪を断固許さず、正義のたたかいを推し進めなくてはなりません。いまこそONETEMAMで「一人はみんなのためにみんなは一人のために」スクラムを組みたたかい続けましょう!

お年玉クイズ

下記の空欄を漢字で埋め、A~Dの順に並べて
出てくる答えを回答してください。

- ① A 診断を受ける
ヒント1 年に一度の受診が義務づけられています
ヒント2 沼澤委員長代理あいさつ「会社の〇全な経営を…」
- ② B 第一の職場風土
ヒント1 公共交通に最も求められているもの
ヒント2 鮫江委員長あいさつ「〇全崩壊につながる…」
- ③ 人間尊重 C を目指す
ヒント1 かつては会社も表明していましたが…
ヒント2 沼澤委員長代理あいさつ「〇業犯罪とは毅然として…」
- ④ 本来 D に集中しよう
ヒント1 安全な職場をつくるために重要なこと
ヒント2 植松委員長あいさつ「鉄道企〇のあるべき姿を…」

答え 全組合員のたたかいで

「A B な C D」を取り戻そう!

お年玉プレゼント

ティスニーペアチケット	…2名	防災30点セット	…2名
只見のお米 5kg	…6名	奥多摩の名産セット	…5名
甲州ワイン	…3名	温泉入浴券	…4名

◆応募方法◆

ハガキにクイズの答え(漢字)と住所・氏名・年齢・電話番号および分会名を記入し下記まで応募ください。(ご家族が応募される際は、組合員の氏名・分会名を必ず明記してください)

〒192-0904

東京都八王子市子安町1-14-15 2F

JR東労組八王子地方本部「新春お年玉クイズ」係

締切 2020年1月31日 ※当日消印有効

当選者の発表はFAXニュースおよび3月号の紙面でおこないます

八王子支部 執行委員長
山本 憲司



組合員・ご家族の皆さん、新年明けましておめでとうございます。また、先の台風15号、19号により被害に遭われた組合員とご家族、災害により被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

18春闘を前後にして始まった労働運動史上最大の組織破壊攻撃から間もなく2年が経過します。昨年を振り返った時、労働組合は何の為にあるのか？どうあるべきなのか？どう行動していくべきなのか？労働組合という「組織」としての「責任」と「判断」について考えさせられた1年でした。非人道的な不当労働行為により、多くの仲間が組織を去った事で職場の雰囲気は大きく変わり、何でも話し合うことのできる安全風土ではなくなってしまいました。そして、今までにない異常なスピード感を持って会社施策が実施されています。生産性向上の為に最小限の要員と効率的な労働強化が行われ、組合員は疲弊しています。本当にこのような状況で安全な鉄道を提供し続ける事ができるのか、危機感を抱かざるを得ません。

職場では不当労働行為による理不尽な攻撃にも負けず、闘い続けてきました。不当労働行為を撲滅する為に、あらゆる手段を講じて闘い抜く事は労働組合として当たり前の責任であり行動であると思います。しかし、中央本部は「第三者機関を活用することは大会決定違反」と主張しています。本当にそのような判断でいいのでしょうか？そうであれば、不当労働行為を撲滅する為の具体的な方針を出して然るべきですが「分会に寄り添う」「苦闘する仲間から学ぶ」と極めて曖昧であり、とても中央本部が出す方針ではありません。あった事実をなかったものにするわけにはいきません。起ちあがった全ての仲間と連帯して第三者機関の活用、社会へ発信を行い、あらゆる手段を講じて不当労働行為の撲滅に向けて闘いを貫いていきます。

今年は私たち労働者を取り巻く環境も更に厳しくなる事が予想される中で「新たなジョブローテーションの実施」もあり、不安が尽きる事はありません。しかし、いつの時代も困難な現実から未来を切り拓いていくのは目的を持って意思した人たちです。私たち一人ひとりの意識と行動が現実を変えていくと信じています。組合員の為の闘う労働組合としてど真ん中を歩んでいきましょう！「1人はみんなのために、みんなは1人のため」の精神で前を向いて共に頑張っていきたいと思います！

立川支部 執行委員長
鯉江 一



本年もよろしくお願いいたします。18春闘を利用した空前の東労組変質破壊攻撃が仕掛けられてからまもなく2年になります。当然にも歴史的スト権確立のたたかいと歴史的弾圧については区別するべきで、正しく総括し、改めてこれまでのたたかひの成果を自覚し、さらなる組織の質的強化を目指していきましょう！

職場は仕事をするだけの場ではありません。だからこそ総力で労働組合の存在意義を示していく事が重要だと考えます。特に「変革2027」(ジョブローテーション等)で目指されている狙いを暴きだし、生産性向上、効率化の行きつく先は鉄道業における安全崩壊につながるという危機感を持って立ち向かっていかなくてはなりません。各種施策での弊害(社会的信用の失墜や地域とのコミュニケーション不足等)や今ある職場課題(安全問題や時代に逆行した長時間勤務、要員問題等)の解決を目指して立ち向かっていかなくてはなりません。日常不断な職場課題克服の独特なたたかひを継続強化して、安全や技術継承、働きがいの視点で議論を深め検証していきましょう！決して諦め感に陥る事なく、このままでは各系統にプロがいなくなるという危機感を持って、職場からの運動＝組織づくりを展開していきましょう。

数年前、先輩に薦められて高橋克彦著「火怨」を読み甚く感動しました。最近では仲間にも薦められて「炎立つ」そして今「天を衝く」という東北三部作の歴史小説を読んでいます。改めて、差別された側、弱い立場で見る視点が重要だと考えさせられました。私たちの生きる現実でも組織は強くもあり、組織だからこそ弱さを実感しています。常に何とたたかっているのかであり、そして最後は自分とのたたかひであると思います。炎を絶やさず、自らの生き方を追求し、共に新たなるたたかひに決起しましょう！

甲府支部 執行委員長
植松 陽二



新年明けましておめでとうございます。日々現場では組合員が悩み苦しむ問題が発生しています。運動の基本は組合員の声であり、解決する事とその運動を高めていくことが労働組合の役割です。ですから更なる団結が必要です。このことを念頭に掲げて実践していきます。

会社が発表した20年3月ダイヤ改正では、利便性向上として「あずさ号」の一部を峡東3駅に停車させるとしました。昨年のダイヤ改正で「あずさ号」を通り越した事が利便性を低下させたことと実証したことであると言えます。決定事項として効率と利益を優先させて地元の意見を門前払いした結果信頼を失墜させ、私たち現場の組合員に対して何ら説明をせず置き去りにしていることを忘れてはいけません。「変革2027」に向け鉄道企業のあるべき姿を変貌させ、なりふり構わず施策を進め、職場規制を強化させて命令と服従による労務管理を行った結果、不当労働行為が横行しています。また、重大な事象も多発しています。鉄道の未来を展望する為、私たちの手で正義と信念を貫き労働者の尊厳と労働組合の存亡をかけ、屈せず諦めず企業犯罪を真っ向から断罪し堂々とたたかひ抜いていきましょう。

安倍首相は昨年12月の記者会見で、憲法改正について「決してたやすい道ではないが、必ずや私たちの手で、私自身として、私の手で成し遂げていきたい」と総裁任期中の実現を強調しました。経済成長と景気の好循環をリピートする一方、労働法制や消費税10%など、私たち労働者に負担を強いています。国会での不正と誤魔化しの政治が社会全体へ蔓延し蝕んでいます。立憲主義・憲法の平和主義を踏みにじり法治国家としての存在すら危うい、平和で安心して暮らせる社会の実現に向けて政治意識を高めて労働者市民と連帯が必要です。

国鉄改革から33年、「組合員・仲間を守る」為に向き合い語り課題を方針運動へ高め、全組合員で勝ち取った成果を積み重ねて来たのがJR東労組運動です。これからもぶれることなく、この一年を全組合員と苦闘を切り拓き突き進んでいきましょう。

各支部委員長
地本青年部長
新年のごあいさつ



支社支部 執行委員長

佐伯 収



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

昨年は年々甚大化する自然災害の影響を感じずにはいられない1年でした。特に八王子管内では台風19号による土砂流入や冠水、床上浸水など多くの被害をもたらしました。被災された組合員のみならず心よりお見舞いを申し上げます。自然の前では人間は無力であることを改めて感じましたし、そこから復旧、立ち上がっていくためには仲間の支えが大事であることを再確認いたしました。「気候行動サミット」での16歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんの演説の内容が辛辣であると非難されましたが、すでに手遅れかもしれません。鉄道は環境に優しいと言われていますが、本当にそうなのでしょうか？私たちが持続可能な社会を構成する一員となるためには、勉強し行動し続けなければならぬ決意を新たにしました。

働き方改革元年と称し、様々な取り組みが拙速に行われていきます。フレックスタイム制におけるコアタイムの廃止やテレワークなどの法改正に合わせた制度の改正。それに合わせて組織横断プロジェクトの新設や現業と非現業の兼務などの社内組織の建てつけの変化。そして生産性向上の旗印のもと変革の施策が私たちに押し寄せています。様々な技術革新を目的の当りにし新たな時代の到来を感じつつありますが、そこで働いている人の雇用と生活は担保されなければなりません。「安全・健康・ゆとり・働きがい」を労使発展のためのサイクルとしていくため、職場活動を通じた組合員の声を大事にしてまいります。

安倍政権が歴代最長の政権となりました。時代にそぐわない部分は改正を行っていくべきとして、憲法9条の改正へ意欲を隠しません。武力の保有は自分たちを守る為だけに有効かもしれません。新年を迎えるにあたり、私たちは国際社会の一員として何を目指しているのか今一度思いを馳せ新たな時代を共に創ってまいります。

八王子地本 青年部長

神津 良樹



青年部員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年、青年部は集まる場を創ることにこだわってきました。2月1日には「青年部集会」を開催し、「変革2027」の本質やAI・IoTの社会とはどのようなことなのかを議論してまいりました。3月10日には「第9回フットサル大会」を開催し、100名を超える仲間が結集しました。ミドル・シニアの先輩も多く駆けつけていただき、八王子地本の組織力を青年部から見せつけてまいりました。また、7月12日には八王子地本青年部としては初めてのとなる「第1回バーベキュー」を、50名を超える仲間とともに創り出し、青年部から組織力をさらに強化してまいりました。これからも集まる場づくりにこだわって、青年部から仲間の繋がりを強化してまいります。

さて、会社による不当労働行為は止むどころか、より熾烈化しており、職場には悩んだり、苦しんだりしている仲間がたくさんいます。このような職場状況は極めて異常ですし、このような状況を作り出している会社を断じて許すことは出来ません。あったことは、なかった事にはできません。八王子地本青年部は会社による不当労働行為を根絶するために、ハス棚倉分会を始めとした仲間と連帯したたかひをします。

今年さらさら苦しいたたかひが続いています。しかし、わたしたちはたたかひが続けます。たたかう仲間、同じ思いを持つ仲間との連帯をさらに強化し、安全で働きがいのある会社・職場を取り戻します。そのためには、みなさん一人ひとりが考え、行動していくことが今、求められています。せひ、職場のみなさんで「こつこつ職場にしたい」、「職場はこうあるべきだ」など議論をしていきましょう。そして、みなさんで力を合わせて、1歩前進したたたかひを創り出していきましょう。わたしは、一歩も引きません！若い世代のリーダーとして、わたしはその最前頭でたたかひます。共にたたかひましょう！！

12月に退職されたみなさん

- 竹下 公男さん 武蔵小金井駅分会
- 米山 幸一さん 豊田車両センター分会
- 相良 淳さん 豊田車両センター分会
- 秋山 慎吾さん 甲府運輸区分会

長い間、大変お疲れさまでした

2020年 八王子地本
主なスケジュール

- 2月15日(土) 第23回定期委員会
- 2月28日(金) 2020春闘総決起集会
- 7月4日(土) 第24回定期大会